

第28回日韓青少年夏季スポーツ交流を開催！ 日本選手団を済州特別自治道へ派遣 韓国選手団を岡山県で受入

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 遠藤利明)は、本年 8 月に標記交流を開催します。

今回は 8 月 8 日～13 日に、韓国・済州特別自治道へ岡山県および岐阜県から選出された日本選手団を 217 名派遣します。また、8 月 18 日～23 日には、岡山県にて韓国選手団 218 名を受け入れます。



第 27 回派遣交流の様子

本交流は、平成 9(1997)年に始まり、今回で 28 回目を迎えます。

過去の参加者には、サッカー男子元日本代表の清武弘嗣選手(第 5 回交流/大分県団)やバスケットボール男子日本代表の富樫勇樹選手(第 9 回交流/新潟県団)などがあり、今回参加する選手たちも将来の活躍が期待されます。

なお、これまでの本交流の累計参加者は 9,764 名(※)となっており、今年の交流の実施により累計参加者は 10,000 名を超える予定です。

※日本選手団派遣人数と韓国選手団受入人数の累計

■開催概要(詳細は添付資料参照)

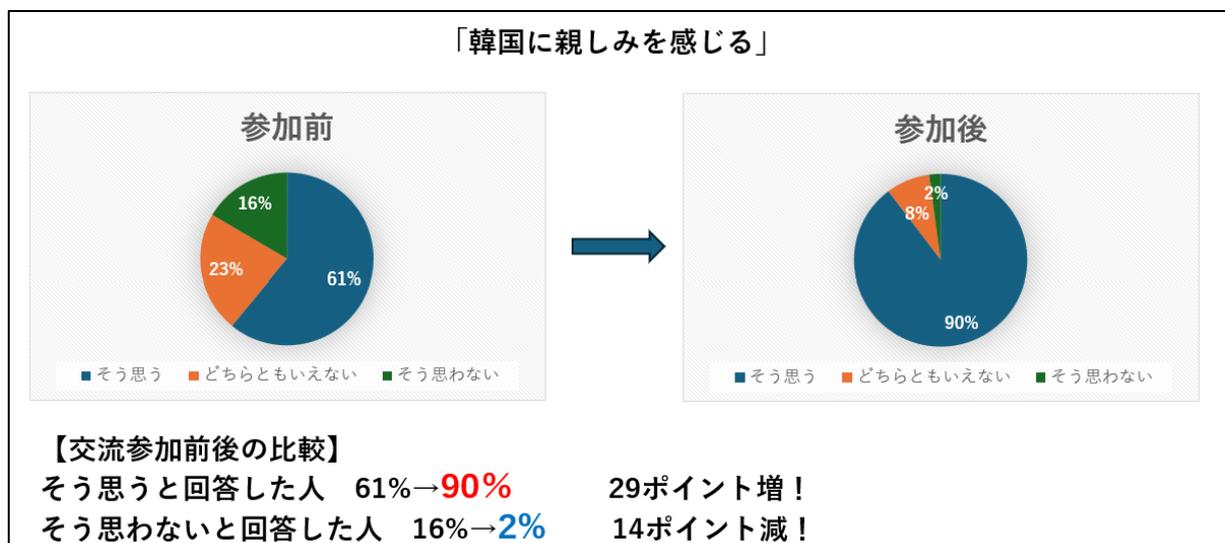
1.名称	第28回日韓青少年夏季スポーツ交流
2.期間	<派遣交流>令和6(2024)年8月8日(木)~13日(火) 6日間 <受入交流>令和6(2024)年8月18日(日)~23日(金) 6日間
3.開催地	<派遣交流>韓国・済州特別自治道 <受入交流>岡山県
4.参加人数	<派遣交流> 日本選手団:217名(本部役員8名、岡山県団97名、岐阜県団112名) 日本選手団団長:岩田 史昭(JSPO 常務理事・事務局長) <受入交流> 韓国選手団:218名(本部役員8名、選手・コーチ210名)
5.実施競技	5競技(サッカー、バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン)
6.添付資料	実施要項/全体日程(予定)
7.その他	・本交流はスポーツ庁国庫補助事業/スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業です ・参考URL(過去の交流の様子等:JSPO HP)▼ https://www.japan-sports.or.jp/international/tabid546.html

【参考】第27回日韓青少年夏季スポーツ交流(派遣/受入)日本選手団アンケート結果

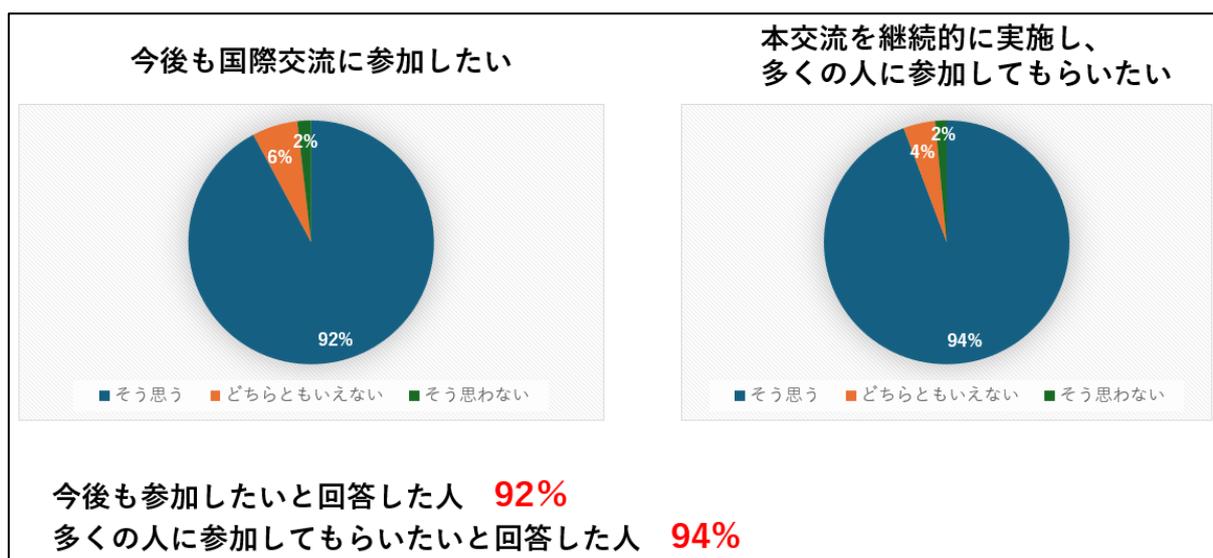
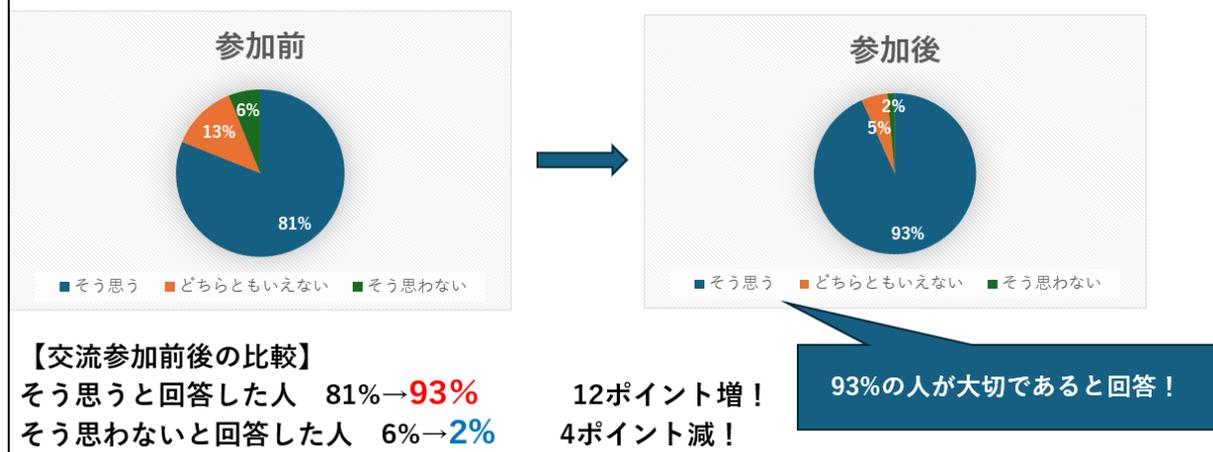
以下のグラフは昨年度の本交流参加者へのアンケート結果を抜粋したものです。

交流を通じて、「韓国に親しみを感じる」ことや「韓国とのスポーツ交流は大切である」という設問に同意する回答が増加していることや、「再び交流に参加したい」という設問に同意する回答が9割を超えることなどが確認できました。

当協会としては、引き続き本交流が、両国の相互理解や友好の推進の一助となるように、努めてまいります。



「韓国とのスポーツ交流は大切である」



◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPO は、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。JSPOでは、国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

▶ 事業概要パンフレット

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約15分)

▶ JSPO 中期計画 2023-2027

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01>

 **JSPO** スポーツと、望む未来へ。
Japan Sport Association

We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER

